失踪時の職業や職種の特徴

拉致被害者・特定失踪者

原資料の日付 2024年6月21日

職業・職種等	人数（人）	割合（%）
学生（大学・高校・専門学校等）	91	22
船舶・漁業関係	51	12.3
土木・建築・電気工事関係	44	10.6
金属・機械・造船関係	38	9.2
教職・公務員・銀行等	33	8
食品・飲食店・旅館関係	33	8
美容・衣料品関係	28	6.7
医療・医薬関係	20	4.8
運送・運輸関係	17	4.1
15歳以下の児童・幼児	17	4.1
電話交換・ビル管理等	11	2.6
農業関係	11	2.6
自衛隊関係	9	2.2
印刷関係	7	1.7
電力・動燃	3	0.7

人数・割合は原資料の掲載値です。掲載区分の人数合計は413人であり、失踪者全体の人数ではありません。

職業や職種に関する補足

1. 会社員は特に業種や職種などが分かっている人のみを計上した
2. 無職や職業不明の人も多数あり
3. 大学生、高校生、専門学校生、予備校生など学生が非常に多い
4. 漁船、遊漁船、タンカーなど船舶関係が非常に多い
5. 食品・飲食関係33名のうち、8名が調理師
6. 現役を含む自衛官もいる
7. プルトニウム技術に関して日本で4天王の一人と呼ばれた人や、原発機器の点検業務を担当する人もいた
8. 失踪当時3歳や4歳の幼児もいる

政府認定拉致被害者と、拉致の可能性を排除できない失踪者を含む資料であり、全員の拉致が確定していることを示すものではありません。